

いのちとくらしをまもる
防災減災

令和2年7月16日
奈良地方気象台

令和2年7月5日から14日までの大雨に関する気象速報 (奈良県の気象速報)

7月5日から14日まで西日本付近に停滞した梅雨前線の影響により、奈良県では大雨となりました。この時の気象状況を気象速報としてまとめました。

【気象の概要等】

西日本に停滞していた梅雨前線は、7月5日から6日にかけて日本海まで北上し、その後、前線上に発生した低気圧が次々と日本海を通過したため、15日にかけて梅雨前線は北上と南下を繰り返しました。このため奈良県では南部を中心に大雨となりました。特に、南西部の野迫川村、十津川村付近で雨が降り続けました。

降り始めの5日16時から14日16時までの総降水量は、十津川村玉置山で576.5ミリ、十津川村風屋で538.0ミリ、下北山村佐田で480.0ミリ、上北山村小椽で373.5ミリ、天川で309.0ミリを観測しました。奈良県内のアメダスでは、降り始めからの降水量が7月の月降水量の平年値を超えているところがあります。

この大雨の影響で、宇陀市で床上浸水1棟、桜井市及び五條市でそれぞれ床上浸水1棟が発生しました。奈良県内で道路が倒木や崩土により一部通行止めになりました。【被害状況：10日12時30分現在：奈良県調べ】

なお、詳細は以下の URL からご覧になれます。

https://www.jma-net.go.jp/nara/kishou/pdf_files/ks20200716.pdf

この資料は速報として取り急ぎまとめたものです（16日11時現在）。そのため、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。

問合せ先：防災管理官室 担当 青木

電話：0742-22-2556 FAX：0742-22-2543